

平成 22 年 12 月 17 日

各 位

株式会社 三井住友銀行

ザ・パック株式会社に「環境配慮企業支援ファンド」を活用した融資を実施

株式会社三井住友銀行（頭取：奥 正之）は、日本銀行の「成長基盤強化を支援するための資金供給」の趣旨に則り組成した「環境配慮企業支援ファンド」を活用し、ザ・パック株式会社（代表取締役社長：中尾 吉計）に対し、融資を実施しました。

三井住友銀行では、従来より「SMB C環境配慮評価融資」に積極的に取り組んでおり、三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：木本 泰行）の作成した独自の評価基準に基づいた企業の環境配慮状況を評価することで、先進的な環境配慮経営を行っている企業に対して、積極的な支援を実施して参りました。

「環境配慮企業支援ファンド」は、従来の「SMB C環境配慮評価融資」の枠組みに、日本銀行の「成長基盤強化を支援するための資金供給」を活用することで、企業の環境配慮経営への支援、並びに日本経済の成長基盤強化への支援に、従来以上に取組むことを目的に組成したものです。

今回対象となったザ・パック株式会社は、「環境負荷の把握の状況」「環境マネジメント」の面で非常に高い水準であると判断され、企業経営において良好な環境配慮を行っているとの評価となりました。

特に、①CO2削減の3ヵ年計画を立て、業務毎の削減目標と計画に基づいて細かに活動推進されている点、②「森林保護（フォレスト）基金」活動により、複数の地点で地域や顧客とともに森林保護や植林を推進されている点、③素材減量化のほか、紙袋や紙器について、顧客が再使用しやすくなるようなものづくりの提案を進めておられる点などが高く評価されました。

三井住友銀行では、日本銀行の「成長基盤強化を支援するための資金供給」の趣旨を踏まえ、当行のノウハウ及び情報提供力を十分に発揮できる『環境』・『中国』等の分野を中心に、引き続き企業の活動を支援して参ります。



紙袋



森林保全



ソーラーパネル

以 上